

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

情報工学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・情報基盤・情報システム・情報サービスに必要な最先端のハードウェア・ソフトウェアに関する深い専門知識と論理的思考能力
- ・人間や社会との関わりの中で要求されていることを理解し、社会に役立つシステムを構築するための幅広く豊かな教養と倫理観
- ・課題の本質を見抜き、専門知識に基づく柔軟な発想で問題を解決する能力
- ・国際的な貢献のためのコミュニケーション能力と指導力

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 情報工学の発展学修
400番台科目の発展科目および500番台の自立科目の学修
- B) 情報工学の応用学修
必修科目である情報工学特別演習など専門選択科目による理論の応用を学ぶ学修
- C) 広い視野を養い、主体的に進める学修
定期的オリエンテーション、助言教員との対面修学指導、研究室公開などを通じて主体的に取り組む力をつける学修
- D) 社会との関わりを体験する学修
社会で活躍する講師陣らによる専門科目を通しておこなう体験学習や技術者倫理の学修
- E) コミュニケーション能力の強化学修
修士論文作成に要求される文書化力と、講究・ゼミを通じた発表力の養成学修

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

情報工学系では、次のような人材を求めます。

- ・理工学の幅広い分野に興味を持ち、自ら積極的に学習し新しい問題に粘り強く柔軟に取り組むことのできる人
- ・知的なふるまいを適切にモデリングして現実の問題解決に結びつけようとする意識を持てる人
- ・より高性能で使いやすいコンピュータシステムの実現を通して、社会の発展に貢献したいという強い志を持つ人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

情報工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、情報工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。